参考資料２

広陵町自治基本条例推進会議

令和8年度第7回条例周知部会

議事録要旨

■ **開催日時**　令和8年6月17日（水）10時00分から12時00分まで

■ **開催場所**　役場3階　大会議室

■ **出席者**

＜条例周知部会委員＞　8名（欠席1名）

＜運営支援＞　1名
特定非営利活動法人NPO政策研究所

＜事務局＞　2名
協働のまちづくり推進課

■ **議　事**

★計画推進部会と条例周知部会合同で推進計画事務局見直したたき台（第１～３章）について事務局から説明

（委員）
・第２章の「協働」の定義内の「町長等」の中に、町の職員は含まれるか。
（事務局）
・条例上の定義を掲載しているため、この表現となっている。
「町長等」は町長とその他執行機関としているため、その補助機関である町職員もその中に含まれているという認識である。

部会協議

★自己紹介と条例周知部会としてのまちづくりに関する思い

（副会長）
・現在の委員体制となって初の条例周知部会ということで、改めて自己紹介をお願いする。自治基本条例の周知について、またどんなことに関心があるか等を

お話いただけたらと思う。
（委員）
・区長・自治会長会会長として本会議に参画。まちづくりに関して、自分に出来ることは何なのか考えているが、漠然としている。資料３にある広報記事はわかりやすく、様々な活動があるとわかる。広陵町を良くしようという山には、色々な道があり、祭で盛り上げる、福祉を充実させる等、様々である。自分も色々考えたい。
（委員）
・商工会から本会議に参画。広陵町で生まれ育った。社協や区の役員、昔は PTA 等も色々してきた。広陵町大好き人間なので、もっとよくしたいと思っている。真美ヶ丘地域にもコロナ禍の前まで住んでいた。地域によって住民の感覚の違いを感じた。互いの地域でもっと上手に協働したいが、昔からの村と３０年程の町、なかなか難しいと思う。広報記事はもっと周知の方法があればと思う。
（委員）
・社協から本会議に参画。広陵町で育ち、結婚してからも町内に住んでいる。私も広陵町大好き人間であり、住みやすい町だと思っている。自治基本条例を深く理解するには、主婦目線からすると、文章だけでは難しく感じる。広報誌は、子を持つ親目線で興味のある記事は見るが、それ以外はスルーしてしまうと思う。
（委員）
・老人クラブ副会長として本会議に参画。法学部出身であり、そこで学んだこととして、法律は強制でなく、然るべき時、何かあった時に和解、解決するためのもの。法律があるから守らないといけないというものではない。過去には小学校 PTA 会長や区長もしてきたが、住民は上から言っても動かない。下から上がっていったものはみんな動く。下からの盛り上げが大事。条例があるから良いというものではない。
（副会長）
・自治基本条例があったから、頑張ってる人の活動の支援ができる。条例があると住民の活動がしやすくなる。そういうものである。
（委員）
・公募委員として参画。自分の住む地域で自主防災組織の責任者を務めている。条例については知らなかった。広報記事はやはり、興味の無いものはぱっと見てスルーされてしまう。地元で回覧についてのアンケートがあり、結果を見ると、回覧物について、「しっかり見ている」、「興味あるものだけ見ている」、「ハンコを押しているだけ」、という答えが１：１：１だった。広報も同じではないかと思う。区長・自治会長会は年に数回の会議があると思うが、どれくらい各

地域の情報というものが得られているのか。地域担当職員もそうである。我々の地域でも防災の会議にも参加してもらっているが、その会議の情報は役場で共有されているのか。

（副会長）

・町の情報発信としては、公式 LINE や広報誌があるが、地域の情報に関しては、確かに定期的なものはない。今後考えてみても良いかもしれない。

（委員）

・公募委員として参画。子どもが通う小中学校で、PTA 会長・副会長をしている。１月の自治基本条例シンポウムで司会を務めた。参加者が少ないのではないかと心配したが、沢山の方に来ていただき、良い結果だったと感じている。西小は児童が８００人在籍し、中にはあまり親同士の知り合いもおらず、孤立してる親も沢山いる。繋がりを増やしていけたらと思っており、またこれからもっと広陵町がよくなればと思っている。

（委員）

・公募委員として参画。自分の住む地域で、箸尾ハロウィン実行委員会という団体で代表をしており、はしハロというイベントや、他にも色々、まちづくり活動をしている。我々のイベントの特徴として、子ども達が来て遊んで楽しむだけでなく、参加・参画し、主体的に関わっていく形にしている。そうした中で、地域の温かみや地元愛を育んでもらえたらと思っている。会長も以前、顔の見える関係性が、最終的には災害時の助け合いに繋がると仰っていたが、私もそう思っている。

・計画全体について、特に第１章の１の、条例や計画の趣旨・目的の部分について、事務局たたき台では自治基本条例イメージ図等を追加してわかりやすくしていただいているが、やはり少し堅い印象がある。理念をよりわかりやすく言語化したり、計画書のもっと始めの方に概要を載せたりした方が一般の人にとって読みやすいのではないか。

（運営支援）

・元市町村職員で、地域コミュニティ関係等、様々な分野に携わった。現在は NPO 政策研究所で全国の自治体を見ているので、様々な事例紹介できる。この分野において、全国レベルでも見ても広陵町はすごい。奈良県内のトップランナーであると思っている。ここにいる皆さんの発言は的を射ている。自信を持ってほしい。このような、立場の違う団体の人間が集まり、それぞれの視線で、まちづくりについて意見を出し合う会議が整備されていることが素晴らしい。条例というものは、言葉そのものを覚えようとしなくていい、こういう会議を充実させていくことが大事だと考えている。

・条例の周知に関してだが、新聞もテレビもみんな興味あるものしか見ない。条

例も一緒である。子育てをしている人と、介護をしている人では目線が違う。そのことを念頭に考えていくべきである。様々な活動に取り組んでいる人達を、どうしたら支援できるのか、活動しやすいのか、情報発信を考えるべき。

★計画の見直しについて

（副会長）

・事務局が作成した計画見直したたき台のフォント変更について、私は良いと思うが、皆さん如何か。

（事務局）

・関心のある人・ない人両方への周知という意味でも、少しでも目を引くようにと思い、修正している。

（全員）

・異議なし。

（委員）

・一点だけ、章見出しの青の白抜き文字が見にくいと感じるので修正をお願いしたい。

（事務局）

・承知した。

（副会長）

・ではフォントについては、事務局の修正を採用する。

・条例周知部会としては、計画の内容というよりも、どのような計画なら読みやすく、見やすいのか、住民が興味関心を持つのか、ということを念頭に意見をお願いしたい。コラムという形式でいくつか、まちづくりの具体例のようなものが掲載されていると思うが、写真等も含めて他にもこの活動を掲載しようとか、修正すべき箇所はあるか。

（運営支援）

・資料３を見ると、まちづくりに取り組んでいる人達がこんなに沢山いるとわかる。こんなに様々な活動があるとわかる。広陵町は自信を持って、情報発信していってほしい。

（事務局）

・コラムの数は増やしても問題ない。また、例えばQRコードを掲載し、既に広報に掲載したものについては、その記事を見ることができるようにする等、方法は色々ある。

（委員）

・子どもの数が減り、子ども会も衰退していっている。子ども会のような、子どもを通じたまちづくりの繋がりがもっと広がれば良いと思う。例えば、中学生

も巻き込んで参加してもらう等も良いと思う。
（運営支援）
・中学生には子ども会に参加して遊んでもらうだけではなく、小学生以下をもてなす側や運営側をやってもらっても良いと思う。
（副会長）
・子ども会の行事に参加したことがあるが、子どもに運営側として参加してもらった。店番等は低学年でも出来ていたし、呼びかけや売り込みまで出来ていた。他にも子ども神輿など、子どもも地域で活躍しているということをもっと情報発信していくと良いと思う。
（委員）
・はしハロでは、萱野子ども会の子ども達が子ども特派員としてイベント運営に参画している。
（副会長）
・良いですね。コラムとして掲載しましょう。
（委員）
・自分達の活動が自治基本条例の何条に該当しているのか、認識がない住民が多いと思う。推進会議として、それらを拾って発信してあげたい。
（運営支援）
・提案だが、コラムの下に吹き出し等でつぶやきのように、情報を補完してはどうか。コラムに掲載している活動について、「この活動は条例〇条に該当する取組。～なところが良いですね。」のようにつぶやくように説明してみては。
（副会長）
・良い提案だと思う。ぜひ採用したい。
（事務局）
・コラム３（住民ワークショップ）・５（あいさつ・見守り）・６（小学校校庭の除草作業）・７（おしゃべりサロン南郷）は過去に広報掲載しているので、QR コードを載せ、広報記事を見られるようにする。
（運営支援）
・まずはこの場、この会議をぜひ写真も掲載して紹介しましょう。
～会議風景撮影～
（副会長）
・コラム１だが、内容、写真はこのままでよいか。
（委員）
・写真が古いものになるが、今回更新してはどうか。５月１７日に西小で行われた、在来校区防災訓練の際の炊き出し訓練の写真があるので、提供できる。
（委員）

・自分も女性消防団の立場で参加した。訓練の様子の写真があるので、提供できる。
（運営支援）
・防災訓練であれば、コラム２の方がふさわしいのではないか。
（事務局）
・コラム１と２（炊き出し訓練と地域防災訓練）をうまく合わせて１つのコラムにする。
（副会長）
・コラム３のワークショップの写真も古いのではないか。
（委員）
・先日リレーセンター広陵跡地利活用アイデアワークショップがあったが、その際の写真で良いのではないか。
（副会長）
・当該ワークショップに係る検討会議には大学も参加しているので、官学連携の観点からも良いと思う。
（運営支援）
・コラムとは別に、１月の自治基本条例シンポジウムの写真も掲載しても良いのではないか。表紙の裏などに、推進会議の紹介をしてはどうか。
（事務局）
・先ほど撮影した会議の様子の写真とともに、シンポジウムの写真を掲載する。
（運営支援）
・「この計画は私たちが作りました！」のようなページにしては。
（事務局）
・計画の見直しについて、本日出た修正箇所を改めて確認させていただく。コラム１の写真の更新については委員・委員にお願いする。コラム３は広報記事のQR コードを掲載し、事務局にてリレーセンター広陵跡地利活用ワークショップの写真に更新。コラム５、６、７も同じく広報記事の QR コード掲載。コラムに追加するものとして、はしハロの子ども特派員。こちらは委員に写真と文章をお願いする。また「つぶやき」として、コラムの内容が条例何条に該当するか等の情報を追記。表紙の裏に、シンポジウムの写真と推進会議の紹介。以上。
（副会長）
・時間になりましたので本日はこのあたりにするが、今後については本日協議した内容をふまえた方向性で進めていく。
・他に気づいたこと等あれば、適宜事務局へ。
（運営支援）
・部会協議に入る前に委員から、第２章の「協働」の定義内の、「町長等」に「町

職員」が含まれるのかについて質問があったが、一般的に町職員は町長の補助機関であるので、あえて町職員と記載しなくても、「町長等」に「町職員」は含まれると解釈される。逆に「町長ならびに町職員」と単純に記載してしまうと他の問題も起こりうる。表現は工夫しましょう。

（事務局）

・７月１日の第１６回推進会議の際、計画推進、条例周知それぞれの部会から本日の協議結果の報告を予定している。どなたかにご担当いただきたい。

（委員）

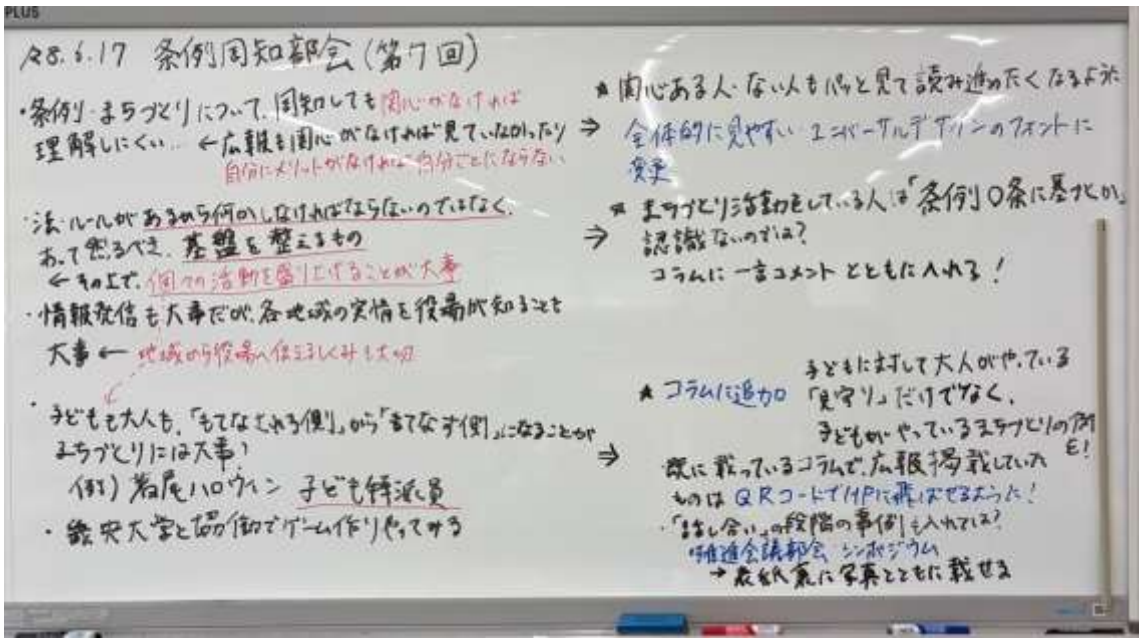
・では私が報告担当します。

★その他

（副会長）

・最後に、私の研究室で卒業論文のテーマとして、まちづくりを題材にした人生ゲームのようなものを制作しようと考えている。まだ具体的に地域も決まっていないが独自性は出したいと考えている。もしこの場にいる委員の皆さんに興味があり、ご協力いただけるのであれば、自治基本条例を題材にしても良いのではないかと考えているがいかがか。授業の関係上、後期の頃になるかと思うが、研究室の学生にこの場に来てもらい、一緒に考え作り上げていけたらと考えている。

（全員）

・異議なし。

■閉　会